エコアクション21
認証番号0008211

2022年度　環境経営レポート

対象期間:2022年10月～2023年9月

上藤宗株式会社

発行日：　2023年12月20日

目　　次

	ページ
組織の概要・対象範囲・事業の紹介	1
ごあいさつ・環境経営方針	2
主な環境負荷の実績・環境経営目標及びその実績	3
環境経営計画の取組結果とその評価	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	12

□組織の概要

（1）名称及び代表者名

上藤宗株式会社
代表取締役　　藤原　宗三

（2）所在地

本　社　　徳島県徳島市不動東町4丁目1533
TEL:088-633-0215 FAX:088-633-0272
資材倉庫　　徳島県徳島市不動東町5丁目429

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　E-mail:kamifuji_hikichi@onyx.ocn.ne.jp
環境事務局　E-mail:kamifuji@abeam.ocn.ne.jp

（4）事業内容

土木工事業、とび･土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業
建築工事業、大工工事業、左官工事業、屋根工事業、管工事業、ﾀｲﾙ･れんが･ﾌﾞﾛｯｸ工事業、板金工事業
ｶﾞﾗｽ工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、造園工事業、建具工事業

（5）事業の規模

	2020年度	2021年度	2022年度
売上(百万円)	597	272	**335**
従業員　名	13　名	13　名	**13**　名
延べ床面積　㎡	100　㎡	100　㎡	**100**　㎡

（6）事業年度　　令和4年10月1日　～令和5年9月30日

□対象範囲･活動

登録組織名:　　全組織
対象事業所:

活動:　　全活動

□事業の紹介

園瀬川護岸工事

徳島市道舗装工事

県道　瀬戸港線　落石防止網設置工事

□ごあいさつ

上藤宗株式会社は、昭和54年6月創業以来建設業を営んできた経験を振り返ると、過去の経済発展が結果的には地球環境を破壊してきたことは周知の事実であります。しかし地球温暖化は、現在も悪化傾向であり当社事業活動から排出される二酸化炭素も原因であるとの認識の上で、二酸化炭素量削減に取組み、微力ながら地球温暖化防止に貢献しなければならないことを全従業員に周知し、実践して参ります。

今後は、エコアクション21のPDCAサイクル活動を活用し、業務改善にも長期的な視野で取組みをして参ります。

代表取締役　藤原宗三

環境経営方針

＜環境経営理念＞

上藤宗株式会社は、社会インフラとしての土木・舗装工事を通じて地球・地球環境保全と持続性の重要性を認識し、自然環境との調和、環境負荷の低減に取組み持続可能な循環型社会の構築に貢献します。
この理念は、環境経営方針に反映し後継者及び次世代へ伝承していきます。

＜環境保全への行動指針＞

当社は、経営理念に基づき地球温暖化防止等に微力ながら貢献する企業を目指すため、環境経営方針を定め、以下の通り実践していきます。

1. 当社に適応した環境マネジメントシステム構築及び実施運用を行い、環境経営の継続的改善をします。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連法令及びその他要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして自主的、積極的に取り組みます。
   1) 電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
   2) 廃棄物の発生抑制及び適正処理
   3) 水消費量の削減
   4) 社員の育成
   5) 清掃ボランティア等の地域貢献活動
   6) 組織本来の業務改善に取組む
4. 上記の取組項目を達成の為に環境目標等を設定し、定期的に見直し、環境経営システムを推進します。
5. 法遵守及び環境負荷の低減活動が実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知します。
6. 受託するそれぞれの事業遂行において、環境配慮型施工の推進に努めます。

制定日：　2011年9月25日
改訂日：　2020年3月1日
代表取締役　藤原 宗三

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	126,051	101,080	191,804
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.319	0.318	0.318
産業廃棄物排出量	トン	4,439.4	1,836.9	1,451.5
総排水量	m^3	64	69	69

※二酸化炭素排出係数　0.669　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数
※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績【中期3カ年　2020年度～2022年度】

・環境経営方針に整合させる。
・前3カ年平均実績を基準とする。CO2排出量削減　中期3カ年目標 累計△1.5%
・受注工事量の影響もあるので、達成率の評価は80%以上で○とする。

管理項目	管理単位	基準値 前3カ年平均実績	区分	2020年度 (基準値の△0.5%)	2021年度 (基準値の△1.0%)	2022年度 (基準値の△1.5%)	単年度達成率	評価
電力 事務所	消費量 kWh	6,549	計画	6,516	6,484	6,451	93.9%	○
			実績	6,375	7,155	6,870		
電力 倉庫	消費量 kWh	6,892	計画	6,858	6,823	6,789	92.1%	○
			実績	7,511	7,440	7,370		
ガソリン 事務所	消費量 L	3,075	計画	3,060	3,044	3,029	67.7%	×
			実績	3,441	3,599	4,473		
ガソリン 現場	消費量 L	5,331	計画	5,304	5,278	5,251	88.1%	○
			実績	6,436	3,726	5,960		
軽油 現場	消費量 L	23,621	計画	23,503	23,385	23,267	38.1%	×
			実績	35,863	28,598	61,135		
灯油 事務所	消費量 L	130	計画	129	129	128	228.7%	○
			実績	66	134	56		
LPG 現場	消費量 kg	215	計画	214	213	212	311.8%	○
			実績	385	68	68		
合計CO2排出量		191,804	計画累計	89,311	89,501	89,049	46.4%	×
			実績累計	124,897	101,082	**191,804**		
		基準達成率		72%	89%			
CO2排出量 原単位		327.6	計画	325.9	324.3	322.6	56.3%	×
			実績	209.2	371.6	**572.5**		

水使用量の削減(基準67m3)	m3	目標	67	**実績**	**78**	次年度も努力
一般廃棄物の排出量削減	kg	目標	500	**実績**	**318**	良い
産業廃棄物ﾘｻｲｸﾙ率	%	目標	100	**実績**	**100**	良い

※原単位 次年度目標は、前 3カ年平均の CO2排出量／売上高、化学物質は使用していないので目標に設定していない。

環境活動計画と環境経営方針を整合させた取組項目

管理項目目標	評価基準	2022年度 達成率	2022年度 評価	評価について	2023年度 目標	2024年度 目標
2)廃棄物の発生抑制と適正処理　7項目 再資源化率の向上	取組実態=5点 ・良い　5点 ・まあまあ 3点 ・悪い　1点	100%	5点	適正に出来ている	7項目 100%	7項目 100%
3)水消費量の削減　2項目と全体評価		92.4%	3点	もう少し努力する	2項目 100%	2項目 100%
4)自社施工の環境配慮　6項目 グリーン購入　8品目		95%	5点	適正に出来ている	6項目 100%	6項目 100%
5)資源の有効利用　1項目 ボランティア参加　年6回		90%	3点	ボランティア参加が5回だった	1項目 100%	1項目 100%
6)業務改善　1項目		80%	3点	もう少し努力する	1項目 100%	1項目 100%

□環境経営目標【中期3カ年　2023年度～2025年度】

管理項目	単位	場所	基準値 2022年度 実績	2023年度 (基準値の△0.5%)	2024年度 (基準値の△1.0%)	2025年度 (基準値の△1.5%)
電力使用量	kWh	事務所	6,870	6,836	6,801	6,767
		倉庫	7,370	7,333	7,296	7,259
ガソリン使用量	L	事務所	4,473	4,451	4,428	4,406
		現場	5,960	5,930	5,900	5,871
軽油使用量	L	現場	61,135	60,829	60,524	60,218
灯油使用量	L	事務所	56	56	55	55
LPG使用量	kg	現場	68	68	67	67
合計CO2排出量			189,852	188,903	187,953	187,004

※　電力の排出係数は、令和5年環境省・経済産業省公表　四国電力ﾒﾆｭｰC(残差)0.532を使用。

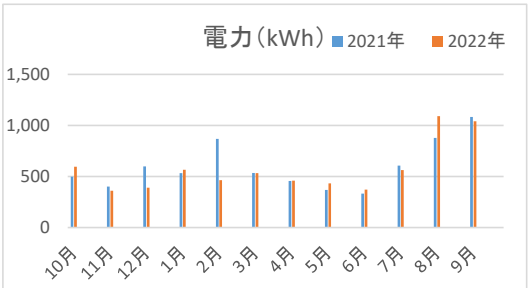
その他の目標		目標値	2023年	2024年	2025年
水使用量の削減(基準67m3)	m3	67	67	66	66
一般廃棄物の排出量削減	kg	500	498	495	493
産業廃棄物ﾘｻｲｸﾙ率	%	100	100	100	100

□環境経営計画の取組結果とその評価

活動:◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

事　務　所

☆電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	LED灯を使用、不要な範囲を消灯して節電を行った。 受注工事の内容から事務所内の作業人数も増加したことから 使用量の増加になった。
・使用電力の情報収集	○	
・不要照明の消灯	◎	
・空調温度の適正化(冷房28℃)	◎	
・ｸﾞﾘｰﾝｶｰﾃﾝで事務所の室温を下げる。	○	

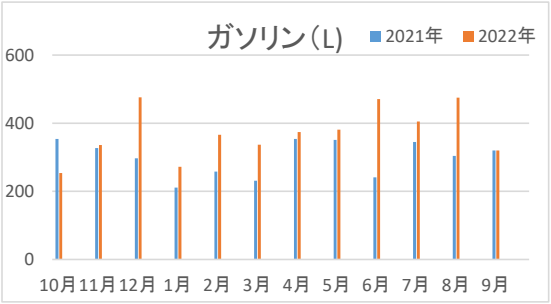


取組紹介欄

事務所LED灯
照明範囲の限定

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	498	402	598	532	868	534	455	369	334	606	877	1,082
2022年	595	362	391	566	464	533	459	434	373	562	1,091	1,040

☆ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	事務所内で、各行動予定を伝え合って外回り作業を短縮した。 次年度も引き続き走行距離を無駄にとらないよう連絡を密にする
・アイドリングストップの励行	○	
・走行距離の短縮	○	
・急発進・急加速をしない	○	
・効率的な車両の利用	○	

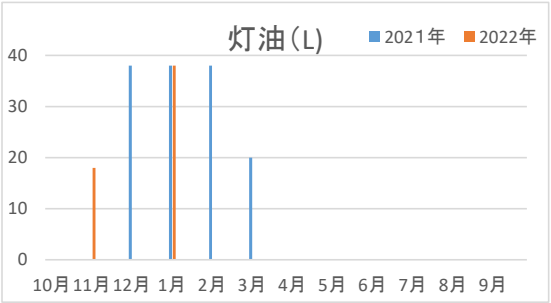


取組紹介欄

事務所内の行動予定表

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	354	327	297	211	258	231	354	351	241	345	304	320
2022年	254	336	476	272	366	337	374	381	471	405	475	320

☆燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	受注工事の内容から事務所作業時間の増加により購入量も増加した。
・空調温度の適正化(室内温度20℃)	○	
・扉を開放したままにしない(換気時のみ)	◎	
・午後はできるだけ使用しない	◎	

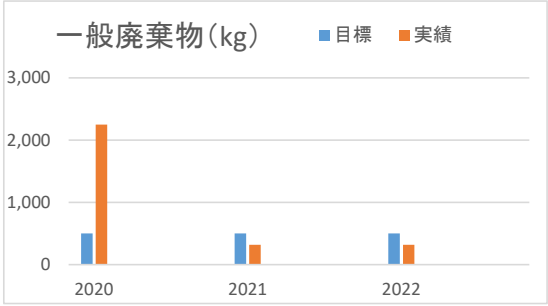


取組紹介欄

設定温度は20℃

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	0	0	38	38	38	20	0	0	0	0	0	0
2022年	0	18	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0

☆一般廃棄物(紙くず)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	社内文書や提出不要の印刷は裏紙を利用する。 次年度は印刷前のチェックをして、ミスコピーを減らす。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	



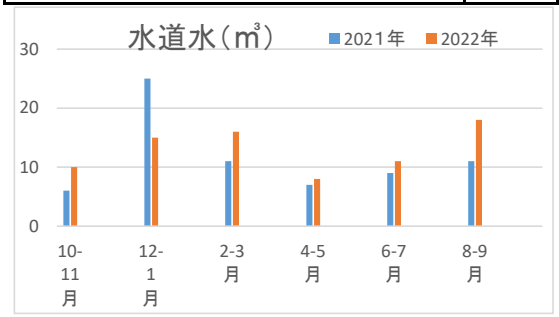
取組紹介欄

使用済みコピー用紙の再

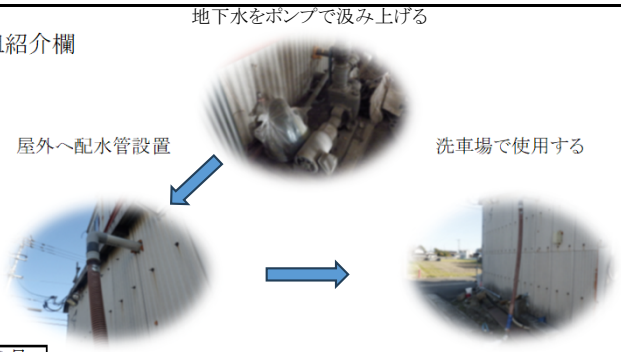
コピー機のカセットに常時、裏紙再利用

	2020	2021	2022
目標	500	500	500
実績	2,249	318	318

☆水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	節水の心がけは全員身についているが、今後も使用時に再度意識して節水に努める。
達成手段　2項目		
・洗車、散水時の節水	○	
・トイレの流水量を最小にする	○	



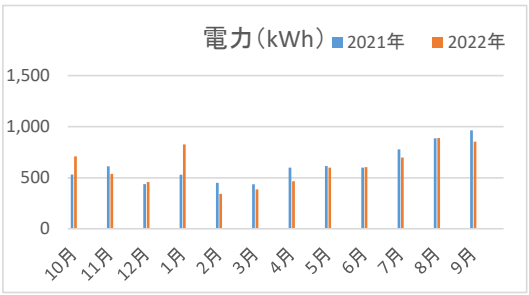
取組紹介欄



	10-11月	12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月
2021年	6	25	11	7	9	11
2022年	10	15	16	8	11	18

倉　庫

☆電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	工事受注規模が増加したことにより倉庫使用頻度や人の出入りが多くなった。
・使用電力の情報収集	○	
・不要照明の消灯	◎	指さし呼称によりオンオフのチェックを行う。
・空調温度の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	○	



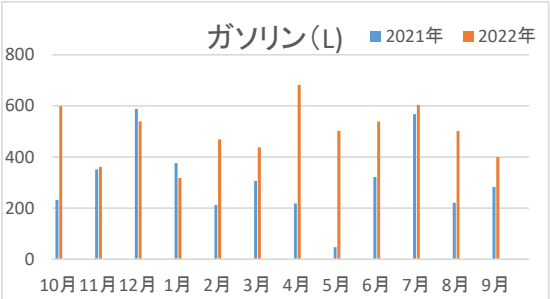
取組紹介欄

使用しないときは消灯！

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	533	612	438	530	451	436	599	615	599	778	885	964
2022年	710	538	459	826	342	387	466	599	604	699	888	852

現　場

☆ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	移動車両による消費なので、現場間の移動を乗り合わせて効率よくできた。
・アイドリングストップの励行	○	
・走行距離の短縮	○	受注内容によるが、次年度も引き続き走行距離の短縮に努める。
・急発進・急加速をしない	○	
・効率的な車両の利用	○	

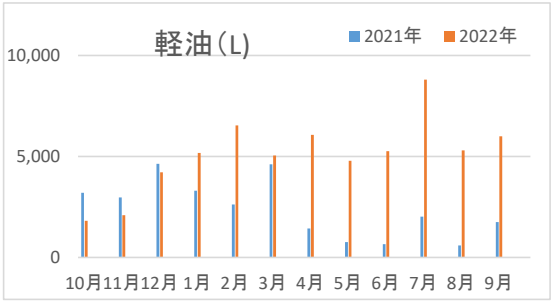


取組紹介欄

アイドリングストップ！

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	232	352	588	376	213	307	219	47	322	568	221	283
2022年	599	362	540	318	469	438	682	503	539	604	502	400

☆軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	河川工事において、大量の土砂搬出作業が続いた。重機の使用台数や稼働率も例年に比べ増加している状況である。軽油の消費量を抑える為に移動手段は最小限にして自社所有のミニローリー車で、現場にて給油する。
・アイドリングストップの励行	○	
・重機、車両の始業前点検の徹底	○	
・効率的な利用	○	

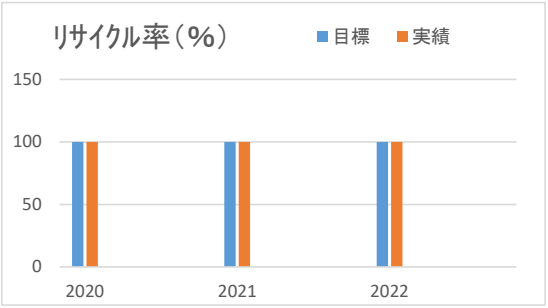


取組紹介欄

軽油を現場で給油

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	3,204	2,974	4,638	3,309	2,624	4,616	1,435	762	660	2,027	594	1,756
2022年	1,820	2,095	4,221	5,180	6,539	5,050	6,070	4,792	5,267	8,796	5,302	6,000

☆産業廃棄物処理のリサイクル率	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	マニフェスト伝票の発行、処理委託契約とも適正に管理できている。次年度は分別を徹底し、混合廃棄物を出来る限り減らす。
・分別の徹底	○	
・マニフェスト伝票による適正管理	○	



取組紹介欄

達成手段　7項目

1 不要なものを持ち込まない
2 現場作業場でのゴミ分別
3 3R(発生抑制・再利用・再生利用)の実践確認
4 産業廃棄物は全量中間処理場へ持ち込む
5 上記、管理票に基づく適正処理
6 ｺﾋﾟｰ用紙の両面使用し廃棄物の発生抑制
7 使い捨て容器の使用や購入を抑制する

	2020	2021	2022
目標	100	100	100
実績	100	100	100

☆グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
達成手段	○	コピー用紙に関しては、FSC認証紙も取り入れることにした。次年度は再利用を工夫して廃棄するものを少しでも減らす。
グリーン購入の促進		
8品目	○	

取組紹介欄

1 コピー用紙(文書用)
2 フラットファイル
3 トイレットペーパー
4 県産材の型枠
5 マジックペン
6 蛍光ペン
7 インクカートリッジ
8 製本テープ

リサイクル率100%

県産材使用の工事看板

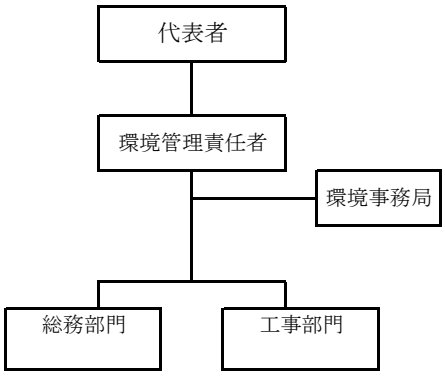
FSC認証紙

☆環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	ICT施工を取り入れることで、労働力不足や 業務の属人化問題を解消しよう。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・環境配慮型重機の使用	○	
・ICT施工の推進	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	○	

取組紹介欄

ドローンによる測量作業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命し、各自の役割及び権限を定め、全従業員に周知する。
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境経営の活動実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：　大規模災害準備対応	
■実施日：　令和5年10月20日	■実施場所：現場、事務所周辺
■参加者：　藤原、河野、中西、坂本 井原、引地、大久保	■実施内容： 避難誘導、現場との情報交換、従業員、家族との安否確認
■評価：　定期的に社員の緊急連絡先を確認が必要。 社員また家族の安否確認出来ないときは支援班が直接出向くことができなくなる。	手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

■実施状況の様子

□代表者による全体の評価と見直し・指示

≪環境活動計画実施状況からの報告≫

項　目		状況報告	管理責任者から 次年度対策
1	環境への取組状況	今年度は、手持ち工事の状況から重機の稼働が増加した。	CO2排出量を抑える取組は引き続き努力して欲しい。各現場で責任者は、工程を計画しリース機械の稼働状況を報告する。
2	法遵守の定期的評価	関係法令での違反はありませんでした。	引き続き定期的な評価を行う。
3	教育訓練状況と結果	土木工事、舗装工事の現場で必要な資格の技能講習を取得した。	複数の現場に人員が分かれる為、作業主任者の配置、免許取得者による作業を確認する。
4	緊急事態への準備対応	BCPで策定している手順書から対応訓練を行った。	次年度は徳島県建設BCPの認定更新である。事業継続j計画を見直す。
5	外部からの苦情等	受注工事の現場付近で地域住民の要望に応えた。	各現場において、地域の環境保全に努める。
6	是正・予防処置等	事象無し	次年度も処置のないように努める。

≪代表者による全体評価≫

年間通して河川工事での施工が続いた。ICTを取り入れて管理し大量の土砂を搬出する作業が多く、過去の実績から出した軽油使用量の目標値では判定出来ないと判断した。施工自体は、計画工程どおり進捗し、トラブルもないのは全員の努力の成果である。引き続き各現場において、リース機械の稼働状況を無駄にならないよう把握して下さい。

環境経営方針　■ 変更無し □ 変更有り
環境経営目標・計画　■ 変更無し □ 変更有り
実施体制　■ 変更無し □ 変更有り

次年度運用についての課題

次年度も環境に配慮した工事の推進を行う。

KOMATSU
SMART　CONSTRUCTION　PC200i　使用

□これまでの環境活動の紹介

徳島市みちピカ事業

徳島県ロード・リバーアドプト

徳島県建設業協会活動

小松海岸清掃活動